

佐久島ビーチクリーン大作戦ボランティア

令和7年4月6日

私たちは4月6日（日）にインターアクトクラブの活動である「佐久島クリーン大作戦」に参加しました。本校のインドネシアの留学生、ジャスミンさんも参加しました。

雨予報でしたが、西尾市の一色港からフェリーで佐久島に着いたところには雨も上がり、さわやかな春の風に吹かれ、桜が満開の中、ビーチの清掃を行いました。

今回の「佐久島クリーン大作戦」の目的は、海岸に漂流しているゴミを拾う海岸清掃と、これから環境をどのように保全していくかを考えることを目的として行われました。

海岸清掃では、拾う前は見渡す限り漂流したゴミがいくつもあり、とてもきれいな海岸とは言えがたい状態でした。今回愛知県全域から集まった、192人の高校生でゴミ拾いを行いました。実際に、大勢の人たちでゴミ拾いを行うと、一人が数個拾っただけでも×人数分のゴミが拾えるので、終了するころには目立ったゴミが全く見当たらず、きれいな海岸になりました。

また午後は持続可能な環境にするための講演がありました。その講演では、南山大学国際教養学部准教授の籠橋一輝先生に、今の環境の現状と環境保全をどうやって取り組んでいくかについてを話していただきました。

～海岸清掃をしてみて 感想～

海岸に特に多かったゴミがプラスチックゴミでした。プラスチックゴミはマイクロプラスチックとなり、普通に見渡すだけでは気づきにくく、注意を払ってみないと気付かないものがほとんどでした。このマイクロプラスチックゴミは海の動植物に悪影響を与えるのですべて拾いたいけど、見えにくいのでしっかりと拾っているか不安になりました。

ペットボトルをはじめ、ビニール袋やプラスチック製品の仕様を減らしていかないといけないという危機感を感じました。

令和7年度ボランティア部

(インターアクトクラブ) 2年生

